

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第9回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成30年11月19日（月） 午後1時30分から3時30分まで
開催場所	西脇市茜が丘複合施設「Miraie」多目的ホール
出席委員の 氏名又は人数	11名
欠席委員の 氏名又は人数	7名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局3名／関係課職員14名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 西脇市総合計画・基本計画（案）について (1) 第3章 安全で快適な生活基盤が整うまち （政策2～7） (2) 第5章 生涯活躍・共生社会の実現 2 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会> 資料確認</p> <p><あいさつ> 本日の会議では、都市基盤、健康、生涯活躍、人権などの分野について議論いただく。 なお、本日は11名の委員に出席をいただいております、定足数を満たし会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p><1 西脇市総合計画・基本計画（案）について> (1) 第3章 安全で快適な生活基盤が整うまち 資料に基づき、事務局から説明</p>
事務局	
会長	

<p>委 員</p>	<p>「政策2 道路を整備する」について 上戸田南から西脇病院までの国道 175号の拡幅工事はいつから始まるのか。また、上野から豊川町までの道路は将来、どうなるのか。</p>
<p>市担当者</p>	<p>明言はできないが、上戸田南交差点から下戸田北交差点までは今年中に工事を始める見通しである。本事業は県事業であり、用地買収の状況も踏まえながら随時進めていきたいとの意向である。</p>
<p>委 員</p>	<p>拡幅後、歩道は整備されるのか。</p>
<p>市担当者</p>	<p>歩道は整備される。</p>
<p>会 長</p>	<p>歩道橋はどうなるのか。</p>
<p>市担当者</p>	<p>歩道橋は廃止する方向で考えられている。通学路については、下戸田北交差点付近を拡幅し、歩道を整備する。</p>
<p>委 員</p>	<p>「政策2（施策4） 人にやさしい道路空間を整備します」について 防犯カメラの設置についても記載してほしい。旧図書館近くのトンネルは暗く、小学生の保護者等からも設置の要望がある。防犯カメラの設置に対する補助制度もあると聞いているので、記載をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>防犯カメラの設置をはじめとした、防犯などの取組については、第2章に記載している。防犯カメラの設置についてはプライバシーの問題もあり、地域が主体となった取組を支援しているが、要望をいただいた場所については、担当課に伝え、地域とともに検討したい。</p>
<p>委 員</p>	<p>市原羽安線の市事業が始まっているが、県事業はいつ頃から始まるのか。また、この道路には信号機が設置されないと聞いているが、直線でスピードも出やすく、特に東西に走る車は危ない。交通量にもよると思うが、事故が起きてから後悔するより、事前の設置を考えてほしい。</p>

市担当者	<p>県事業については一部河川の付替えをする必要があり、道路工事はその後になる。信号機については、警察との協議の上で、完成時は設置しない方向で事業を進めている。</p>
委員	<p>市が要望しても設置できないのか。</p>
市担当者	<p>市から警察へ要望することはできるが、設置の判断は警察が行うこととなっている。</p>
委員	<p>では、設置を強く要望していただきたい。</p>
委員	<p>「政策5 魅力ある市街地をつくる」について 行政が中心市街地と位置付けるエリアと、市民が中心と考えるエリアとの間にズレはないのか。また、行政は中心市街地、子育て・教育は「みらいえ」のある野村町、買い物は高田井町周辺というように、それぞれの分野の拠点が1か所に集まっていない。車が使え世代はそれでもよいが、そうでない世代のために、これらの拠点をつなぐ方法は考えているのか。</p>
市担当者	<p>「まちなか活性化計画」では、西脇地区10町と津万地区2町を「中心市街地」と定義している。現在策定中の「立地適正化計画」における都市機能誘導区域や居住誘導区域との整合も図っている。特に西脇地区を中心に、人口減少・少子高齢化が進み、空き家・空き店舗も増加している。一定の人口密度を保ち、都市機能を維持するため、新庁舎周辺のにぎわいをつくるソフト事業などに取り組みたい。</p>
会長	<p>立地適正化計画についても策定中とのことだが、何か説明いただけることはあるか。</p>
市担当者	<p>先に実施したパブリック・コメントの内容を踏まえ、都市計画審議会で最終確認をいただき、今年中に策定・公表する予定である。</p>
会長	<p>立地適正化計画の内容は、総合計画にも反映させる必要があると思う。</p>
市担当者	<p>それぞれの担当者が連携し、整合を図っている。</p>

市担当者	<p>拠点をつなぐ方法について、現在地域公共交通網形成計画を策定中である。計画では、平成33年度からコミュニティバスの再編開始を予定しており、「しばざくら号」については市街化区域内を巡回するルートに変更したいと考えている。ダイヤについてもより分かりやすいものに変更したい。</p> <p>また、料金の均一化についても検討していく。多可町では100円均一としており、ひとつの参考になると考えている。安価で利便性の高い公共交通を目指したい。</p>
会長	<p>交通ネットワークによる工夫で対応したいとの説明であった。</p>
委員	<p>乗降場所を限定するのではなく、バス停まで行くのが難しい高齢者などが、ルート内なら手を挙げればバスに乗り込めるようなシステムにはできないのか。</p>
市担当者	<p>道路がある程度広く、交通量が少ない地域では既に導入しているが、交通量が多く道路が狭い地域でのフリー乗降の実現は難しいと考えている。</p> <p>別の方法として、足腰に不安のある方向けにデマンド型交通の導入を図る。タクシーとバスの中間的なもので、一定の区域内で需要に応じて順番に迎えに行き、目的地で順番に降ろしていく。公民館など自宅に近い乗合場所で乗降できることがメリットである。乗合場所までどうしても行けないというケースがあれば、自宅まで迎えに行くことなども検討したい。</p>
委員	<p>料金設定はどうなるのか。</p>
市担当者	<p>タクシーより安く、バスより高い程度の価格設定を考えている。他市町では、基本料金が400円で、65歳以上はその半額となっている例がある。</p>
委員	<p>地元のタクシー事業者と競合することにならないか。</p>
市担当者	<p>御指摘のとおりタクシー事業者と競合する部分はある。国土交通省からも、制度導入に当たっては地元タクシー事</p>

	<p>業者と協議するようにとの意見があり、本市でも市内3事業者と協議を行っている。</p>
委員	<p>「政策6（施策3）身近にあるきれいな環境を守ります」について</p> <p>河川堤防の草刈は勾配があって危険度も高い。参加者も高齢化しており、地域で対応するのが限界になってきている。</p>
市担当者	<p>今後、河川環境整備の取組方法を見直していく必要があると考えている。現在は各地区に委託しているが、近いうちに各地区の意向を確認し、議論させていただく。人手の状況や金銭負担の状況などを集約し、今後の進め方をまとめていきたい。</p>
会長	<p>今後の自然環境の維持・調和には、ハード面だけでなくソフト面での工夫も必要である。</p>
委員	<p>デマンド型交通を導入するとしても、車が入れない狭い道路があり、そのような地域には買い物に行けない人が多くいる。スーパーマーケット等と契約し、移動販売をしてもらうとよいのではないか。</p>
事務局	<p>比延地区では商業店舗がないこともあり、特に山間部の住民を支援するため、移動販売が行われている。西脇地区でも店舗が減少しているが、市全体で見ると利便性や物流機能が比較的恵まれている。現在、スーパーの個別配達なども行われており、民間事業者や地域のコミュニティによる自発的な取組に期待したい。行政が支援する場合でも、まず周辺地域からになると思う。</p>
委員	<p>「政策7（施策1）市営住宅を供給します」について</p> <p>持ち家が充実する中で、市営住宅の在り方、また部屋の広さなど住宅としての質の問題について、今後どのように考えているのか。</p>
市担当者	<p>市営住宅は現在805戸あり、うち約580戸に入居、残りは災害対応等のための政策空き家となっている。建物の老朽化や人口減少などを踏まえ、平成36年度末までに概ね戸</p>

<p>委員</p>	<p>数を半減させる計画である。 部屋の広さ等については、戸数とともに長寿命化計画において再検討していく。</p> <p>< 1 西脇市総合計画・基本計画（案）について > (2) 第5章 生涯活躍・共生社会の実現 資料に基づき、事務局から説明</p> <p>「政策4（施策1）ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します」について 運動への関心が低い層への対策として、現在考えていることや該当する取組の例はあるか。</p>
<p>市担当者</p>	<p>無関心層へのアプローチは難しい。仕事をしている30～40歳代は特にスポーツをしていないというデータがある。休日にスポーツをする機会が減少しており、夜間に仕事をしている人もいる。このため、例えば職場の中でスポーツ活動をしていただくことを提案できないか検討している。</p>
<p>市担当者</p>	<p>新庁舎では、健康交流機能の整備を計画している。運動ができるスペースをつくるほか、1階ロビーの奥にガラス張りの教室を設けて、実際に活動している様子を来庁者に見ていただくことで、関心を持ってもらうきっかけづくりをしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>「政策6（施策2）性別による固定的な役割分担意識を解消します」について 女性のまちづくりリーダーの養成や防災訓練への参加はイメージできるが、意識啓発には実際にどのように取り組むのか。また、市民にできることはあるか。</p>
<p>市担当者</p>	<p>例えば、セミナーのテーマとして取り上げ、シリーズ化して開催してはどうかと考えている。また、情報発信を強化して男女共同参画の機運を高めていくことを考えている。関係課と一緒にどのような取組ができるか考えていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>「政策1（施策1）健康的な生活習慣の定着を促進します」について 受動喫煙対策が法律化されたが、例えば店舗の床面積何</p>

	<p>m²以上は禁煙にするといった基準について、西脇市では国の基準どおりに取り組むのか。それとももっと厳しい基準をつくって、喫煙を減らすといった考えはあるのか。</p>
市担当者	<p>独自の基準等は考えておらず、法律に基づき、兵庫県とともに啓発に取り組みたい。</p>
委員	<p>「政策7 人権文化を創造する」について 担当者や地域の方々が一生懸命にやっていることは感じているが、無関心な人が多く、セミナー等があっても行かないという人も多い。参加を呼びかけてもあまり効果がない。今後どう取り組んでいけばよいのか。</p>
市担当者	<p>御指摘のことについては我々も課題と考えている。昨年度の人権教育研究大会のアンケートでは「教職員を対象とした研究大会ではないのか」という意見があったことを踏まえて、学校だけでなく地域全体の問題であることの啓発に努めてきた。その結果、先日開催した今年度の人権教育研究大会では地域からの参加人数が増加するなどの成果があった。</p> <p>集落や町によって人権問題への意識に差があるため、まずは各種研修会に意欲的に参加していただけるよう、企画段階から市民に参画してもらい、受け身的な意識を自発的なものに変えていきたいと考えている。活動への参加人数だけでなく、参加者層の広がりにも特に力を入れたい。</p>
委員	<p>「政策4 生涯スポーツを振興する」について 産業振興も兼ねて、釣りは魅力的なテーマだと思う。西脇市には釣り具メーカーが多くあり、河川もある。子どもと高齢者を結びつける生涯スポーツとしても期待できる。昔は市内で釣りの大会があった。まちづくりのイベント等として実施できないか。</p>
市担当者	<p>スポーツフィッシングという分野もあり、釣りもスポーツのひとつとして捉えている。観光やまちづくりの関係課と連携し、研究していきたい。</p>
委員	<p>高齢者がグラウンドゴルフに熱心である。近隣市には立派なグラウンドゴルフ場があるが、西脇市にもつくっても</p>

	<p>らうことはできないのか。</p>
市担当者	<p>将来的に天神池の埋立地をそのようにできないかと計画している。しかし、2～3ホールで2億円以上と財政負担も大きいことから、利用できる特定財源がないか、検討している。</p>
委員	<p>当面は都麻の郷交流グラウンドがあるが、検討してほしい。</p>
委員	<p>「政策6 女性が活躍できる社会を実現する」について大いに推進してほしいが、まだまだ男性社会であり、もっと女性に色々な場へ進出してほしい。女性が引っ込み思案なために男性が前に出ているところもある。PTAなどは女性が代表になっているところも多いが、地域活動においてもっと女性に声をかけてほしい。</p>
委員	<p>現在の市役所職員の約半数は女性であり、直近5年程度の採用でも半数以上が女性である。将来の管理職は女性の方が多くなるかもしれない。</p>
事務局	<p>現行の総合計画では人権分野のひとつとして男女の問題を位置付けていたが、さらに強力に推進するため、ひとつの政策として独立させた。人口減少が進む中で、老若男女の壁を取り除いていく必要があると考えている。</p>
会長	<p>今後、女性の活躍はまちづくりや行政運営にも不可欠である。</p>
	<p><2 その他 まちづくり指標とまちづくり市民アンケートについて> 資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>施策の実際の効果は、既存の指標だけでは分からないものもあり、これを補完するために市民アンケートを実施するということである。</p>
委員	<p>アンケートの性別について、最近是人権やLGBTへの配慮などから、男女以外の項目（「その他」等）を設ける</p>

	<p>ケースもある。</p>
事務局	<p>この件については、行政として明確なルールはない。人権に関するアンケート等では「その他」の項目を設定しているようだが、皆さんの御意見を伺いたい。</p>
委員	<p>確かに最近では「その他」等を加えたアンケートもある。しかし、例えば女性として生まれたが自身を男性と思っている人は、男性に丸をつけると思う。心中が揺れ動いている人がいるなら「その他」を加えることもよいが、身体的なことは別として、気持ちの面ではどちらかに決まっている人が多いと思う。</p>
委員	<p>「その他」に該当する人が何人いるのか分からないが、アンケートとして回答を求める以上、例えば5件しかなくても集計を行うのか。その人の気持ちで選択するのであれば、「その他」はむしろおかしいのではないか。</p>
委員	<p>強制的に回答しなければならないものではないので、選択したくない人は丸をつけないのではないか。「その他」を設定するなら、内容を尋ねる括弧書きなどが必要かもしれない。</p>
事務局	<p>世論では第三の選択肢が必要という意見もある。現状でも性別を選択しない回答者が数人程度いる。この件については事務局に一任いただいてよいか。</p>
委員	<p>人権文化やLGBTについて議論していく中で、このようなことについても議論だけはしておきたかった。「その他」を設定しなければならないということではない。</p>
会長	<p>様々な意見があった。簡単に判断できる問題ではない。他にも何か意見があれば、事務局に伝えてほしい。</p> <p><次回日程について> 次回は12月中に開催したい。日程は後日連絡する。 本日の議論について意見等があれば、お知らせいただきたい。</p>

<p>会 長</p>	<p>今回で基本計画の全ての内容について検討したことになる。これまでの議論を踏まえてまとめてもらい、あらためて修正案について検討いただく。 本日も熱心な議論をいただき、感謝する。</p> <p>< 閉会 ></p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>